

令和5年度 文京区立本郷小学校 授業改善推進プラン（道徳）

| 身に付けさせたい力 | 低学年 | 中学年 | 高学年 |
|-----------|----------------------|-----------------------------------|----------------------|
| | ○自分自身の生活を振り返ることができる。 | ○自分自身の生活を振り返り、よりよい自分の姿を考えることができる。 | ○よりよい自分の姿に向かって努力できる。 |

| 児童の実態 | 1年 | 3年 | 5年 |
|-------|--|---|---|
| | 低学年 | 中学年 | 高学年 |
| | <p>○提示された絵を見ながら、資料の読み聞かせを真剣に聞き、登場人物の気持ちにそって、発言できる児童が多い。</p> <p>○登場人物の心情を考えて役割演技をしたり、登場人物になりきって吹き出しに気持ちを書いたりすることができる。</p> <p>○道徳的価値を理解することができても、道徳的価値に迫った自己の振り返りが難しいため、道徳的判断や心情、実践意欲に結び付かないことがある。</p> | <p>○道徳的価値について把握する展開前段では意見を言える児童が多く、資料を読み、内容を把握した上で登場人物の気持ちを考えることができる。</p> <p>○道徳的価値について自分の考えを書く場面では、書けなかったり、的を射ていなかったりする児童がいる。</p> <p>○道徳的価値について理解はしているが、自分の生活体験と結びつかない児童もいる。</p> | <p>○資料を読み、道徳的価値を把握し、登場人物の気持ちに沿って考え、友達と意見交流することができるが、自分の考えに固執してしまう児童も見られる。</p> <p>○登場人物の気持ちと自分の経験を重ね合わせ、考えることができる児童が多いが、葛藤場面で本音を出し切れなことがある。また、発言する児童に偏りがある。</p> <p>○道徳的価値について自分の生活などに照らし合わせて考えることは難しく、実践力を育てていく必要がある。</p> <p>○道徳的価値について理解しているものの、実生活の中で行動に移せない児童もいる。</p> |

| | | | |
|--------|--|--------|---|
| 2 年 | <ul style="list-style-type: none"> ○登場人物の気持ちを考えて積極的に発言する児童が多い。また、友達の意見に理解したり共感したりする場面も見られる。 ○書く活動では、登場人物の気持ちを考えて書いたり、自分自身の出来事を振り返ったり、積極的に書く児童が多い。 ○道徳的価値について理解することはできるが、自分を客観視することが難しいため、道徳的価値に迫った自己の振り返り行動に結び付かないことがある。 | 4 年 | 6 年 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○道徳的価値について把握する展開前段では意見を言える児童が多い。また、価値の一般化や自覚化の場面になると意見が言えない児童が多い。 ○それぞれの立場から多角的に考えられない児童が多い。 ○自分の意見に偏り、相手の立場になって考えることが難しい児童が見られる。 ○友達の意見を取り入れて今後の行動を考えられる児童が多い。 ○発表の前に自分の考えをまとめる時間をとったり、感想を書く時間を確保したりすることで、自分の思いや考えをもつことができている児童が多い。 | | <ul style="list-style-type: none"> ○資料を読み、人物の気持ちを考えることはできるが、葛藤場面における意見が単一的で、大まかな言葉での表現に留まっており、心情の機微への気付き・共感が弱い。 ○その授業の価値を考えながら、授業に取り組む児童が多い。 ○道徳的価値について理解しているものの、実生活の中で行動に移せない児童もいる。 |

| | | 低学年 | 中学年 | 高学年 |
|--------------|--------|---|---|---|
| 授業改善の具体的な手立て | 1 年 | <ul style="list-style-type: none"> ○場面の絵を活用した資料の提示の仕方を工夫する。 ○自分の生活を振り返る時は、具体的な場面を想起させ、価値への意識付けを行う。 ○心情のメーターや矢印などを活用して登場人物の心情変化を可視化することで葛藤場面や道徳的価値への意識付けを考えられるようにする。 ○多様な意見を聞き合いながら、多角的・多面的に考えられるようにする。 ○ワークシートを活用し、自分自身の振り返りに生かす。 ○教師の説話以外にも絵本や歌を使って学習に余韻をもたせる。 ○他教科・領域との関連付けをしながら、体験を思い起こせるようにする。 | 3 年 | 5 年 |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> ○言葉や文章だけではなく、場面の絵を活用した資料の提示を工夫する。 ○自分と友達の意見の違いに目を向けさせ、既存の価値観を揺さぶるような発問を工夫する。 ○自分の経験や道徳的価値に向き合うために、書く時間を十分に確保する。 ○課題に対しての考えや自分の経験の振り返りについて、ペアやグループなどでの話し合いを活用する。 ○教師による説話を児童にとって身近な話題にし、共感をもてるようにする。 ○道徳的価値について、実生活にどう生かしていく考える前に、例示したり、すぐに答えられる児童の意見を聞いた後から書き始めるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> ○場面の絵などを活用し、資料に合った効果的な提示を工夫する。 ○場面の経過や人物の心情の変化が分かるように板書を工夫する。 ○児童の実態に応じて教科書以外の教材も活用したり、日常生活での活動場面を提示したりして課題がもてるように発問を精選したり、個々の価値の深まりや自己の生き方の振り返りができるようにする。 ○道徳的価値について自分の経験を振り返り、意見交流を通して意見を知り、価値について多面的・多角的な考えを深められるようにする。 |

| | | | | |
|--------|--|--------|---|--------|
| 2 年 | <ul style="list-style-type: none"> ○板書や場面絵を活用して、主人公の心の動きや葛藤が見えるような工夫をする。 ○気持ちを表す様々な言葉を学級で確認し、自身の言葉で表現しきれない心情の機微にも共感できるようにする。 ○役割演技や動作化をして、感じたことに共感をもてるようにする。 ○ワークシートを活用し、自分の行動を振り返る機会を増やす。 ○道徳的価値に迫る導入を展開する。 ○終末に教師の説話や詩の紹介、振り返りの交流などで、再度価値を深める。 | 4 年 | <ul style="list-style-type: none"> ○場面の絵を活用した資料の提示の仕方を工夫する。 ○電子黒板やデジタル教科書を使用して、内容を読み取れるようにする。 ○既存の価値観を揺さぶるような発問を工夫する。 ○様々な意見が明確になるような発問構成・板書を工夫する。 ○考える時間や書く時間を十分にすることで、自分の生活を振り返り、価値に迫ることができるようにする。 ○教師による説話を児童にとって身近な話題にし、共感をもてるようにする。 ○場面の理解を深めるためにロールプレイなどを行い、その時に考えた気持ちを言葉にさせていく。 | 6 年 |
|--------|--|--------|---|--------|

| | 低学年 | 中学年 | 高学年 |
|-------------|--|---|--|
| 成果(○)と課題(●) | 1年 <ul style="list-style-type: none"> ○導入時にめあてとなる道徳的価値に関する発問をすることで、その後の学習に関心をもって、臨むことができた。 ○資料掲示、板書、発問を工夫することで、内容の理解につながり、道徳的価値について考えるきっかけになった。 ○役割演技を通して、登場人物の気持ちや価値への理解を図ることができた。 ○ワークシートを活用し、自分自身の振り返りに生かすことができた。 ●児童の生活につながるような題材を工夫することで、道徳的価値を自分自身の生活に結び付けて考えられるようにしたい。 ●価値への意識付けができた直後は、行動に表れる児童もいたが、時間が経つと意識が薄れてしまう児童が多いので、学校生活の中で継続して指導していくことが必要である。 ●学校行事や学習内容等と関連させるために年間の見通しをもって、計画的に指導していく。 | 3年 <ul style="list-style-type: none"> ○場面の挿絵を活用した資料の提示により、場面の流れや登場人物の気持ちを理解しやすくなった。 ○発問に対する自分の考えを記述する時間を十分に保障し、意見の交流を通して、自分の考えを広げたり深めたりすることができた。 ○自分の考えをワークシートにまとめることで、児童同士の話し合いでは、分かりやすく話すことができていた。 ○役割演技を通して、登場人物の気持ちを理解し、そこから自分の考えを再構築することができた。 ●学習教材を通して、自分の経験がないため、これからの意欲につながらない児童がいた。 ●授業を行った直後は道徳的価値を意識して行動することができたが、時間がたつとその価値が意識できていない様子も見られた。継続的に意識付けを行っていく必要がある。 | 5年 <ul style="list-style-type: none"> ○場面絵などの資料を提示するタイミングと、発問のタイミングを合わせることで、話の内容がより理解しやすくなっていた。 ○ワークシートで今までとこれからの自分を見つめ直すことで、価値へと学びを深めることができた。 ○友達との対話の時間とワークシートに書く時間を確実に確保したことで、自分の正直な思いや考えを表現する児童が増えた。 ●ワークシートや発言からは、価値への意識付けができていた児童が見られるが、実際に行動に移せる児童は多くなかった。 ●発問の精選をして、児童が価値に迫ることができるようにしていく必要がある。 ●他者との交流や、全体の発表を通して、自分の考えに固執し、変容があまり見られない児童もいた。 ●教科書を用いることで、読解指導になってしまう場面があったので、教科書での指導に際して、要点をおさえていく。 |
| | 2年 <ul style="list-style-type: none"> ○場面絵や貼るタイミングを工夫することで、登場人物の気持ちを考えやすくすることができた。 ○登場人物の気持ちを視覚化することで心の動きを捉えやすくなったり、価値理解への発問が広がったりした。 ○登場人物の気持ちを考えた後に、自分の考えをまとめることができた。 ○導入の部分で、一般的なことを振り返らせ、最後のまとめで自分のことを考えさせるときに、導入とリンクさせると考えやすくなった。 ●振り返りの際、価値への意識は見られたが、行動に起こすことについては、日々の生活の中で、意識付けを行うことが必要である。 ●気持ちを表す言葉の掲示が十分でなかったため、道徳の時間に限らず、児童の発した言葉を適宜掲示していく。 ●児童自身の経験が少なく、授業の中で、道徳的価値と結び付けられない児童がいた。学校生活の中で意識させる必要がある。 | 4年 <ul style="list-style-type: none"> ○電子黒板や場面の絵を活用した資料の提示の仕方を工夫したことで、場面を理解し、そこから発問に対して考えていくことができた。 ○ワークシートに自分の考え思いを書くことで、自分の心と向かい合う時間を確保することができた。 ○教材文や学校行事等と関連させた授業展開をすることで自分たちの実際の生活をふりかえり、今後の行動や考え方を見直すことができた児童がいた。 ○登場人物の気持ち行動や気持ちを考え、自分だったらどのような行動をとるか自分事に考えられるようになった。 ●道徳の授業では、価値を理解していたが、授業で考えたことが実生活に活かしていない児童がいた。 ●発問を工夫して一人一人が深く考え、価値に迫るように展開を工夫したが、話し合いは一部の児童のみの参加になってしまったことがあった。 ●価値について計画的に指導していけるよう学校行事等と関連させて年間の見通しをもって指導していく。 | 6年 <ul style="list-style-type: none"> ○資料は教科書と合わせて、新聞や絵本など様々な資料を活用したことで、価値に近づくことができた。 ○自分について振り返って書く時間を十分に確保することで、よりよい自分を考えることにつながった。 ●価値への意識は見られ、振り返りにも反映されているものの、実生活で行動として価値を意識できていない児童も見られるため、日常の意識付けを行うことが必要である。 ●価値の理解が道徳の時間のみで終わることがないように、実生活での行動に結び付けていくよう、学校生活全般の中で、教師が言葉をかけ気付けさせていく必要がある。 ●教科書の教材に加え、ディベートやペア・グループなどの学習形態を取り入れていくことが効果的であると考えた。 |